

ボランティア・
NPOの情報誌

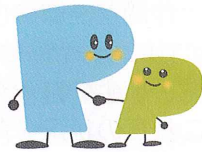


65号

Oct. 2023

とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
https://www.plaza-tokushima.com
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

CONTENTS

特集 NPO法人 三嶺の自然を守る会
三嶺の現状を知ってほしい

ひと NPO法人 川塾
おやこOUTDOORくらぶ♪はんもっく
桑原 純子さん
自然の中で親も子も育ちあう

シリーズ この人から
リレー・フォー・ライフとくしま 実行委員長
徳島県がん患者団体協議会 代表
香留 美菜さん
とくしまがん療養サポートブック

事業紹介 「ゆめバンクとくしま」助成金授与式

ハートリレー
No.65 坂本さんから郡さんへ

NPO法人 三嶺の自然を守る会



標高 1894m、徳島では剣山について3番目に高い四国
東部を代表する山、三嶺(みうね)。高知県と三好市に
またがり、国の天然記念物に指定されているミヤマクマ
ザサとコメツツジなどの希少な生態系を有しています。

コメツツジ

↑ミヤマクマザサ

NPO法人 三嶺の自然を守る会 とは

三嶺の現状をみんなで考え、楽しく、三嶺の自然を身体全体で感じながら、多くのボランティアの人たちとともに三嶺の自然を後世に残すために活動する山岳自然保護の団体です。近年の登山ブームで手つかずの三嶺の自然を堪能しようと多くの登山者が訪れ、自然生態に悪影響を及ぼす「オーバーユース」に陥っています。

オーバーユースによる影響としては、登山道や山頂部の木々や下草の枯死、希少な植生の盗掘、また山頂のトイレが原因と思われる水場の水質汚染などが挙げられます。しかしそれ以上に、シカによる食害が深刻な影響を及ぼし始めてきました。このままでは三嶺の豊かな自然が消えてしまう、それを防ぐために登山者への啓発活動を行おうと、2000年に三嶺の自然を守る会が作られました。

三嶺の現状を知ってもらいたい



くれいし ひろし
理事長 暮石 洋さん

若い頃から山岳会に属し県内外の山を登っていました。山の保全活動に関しては、剣山山頂部のササ原が多くの登山者に踏まれ次第にササ原が後退した頃に山岳連盟が行っていた保全活動に関わりました。その後、手つかずの自然が残った三嶺の自然を保全しようと仲間と三嶺の自然を守る会を発足させました。会を発足させた2000年頃は、すでにオーバーユースの状況に陥っていましたが、具体的には、希少植物の盗掘、植生の踏み荒らし、トイレが原因と考えられる水場の大腸菌汚染などです。これらの状況を背景に「三嶺を大切にしよう！」と登山者への啓発活動に取り組みました。

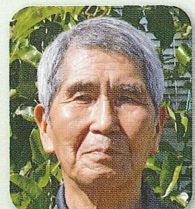
2007年頃からオーバーユース問題より深刻な「シカ食害」が顕著になりました。悠久の時間が創り上げた三嶺を含む剣山山系の貴重な自然は、増え過ぎたニホンジカの食害により生態系が壊されています。剥皮被害により樹木が枯死し、中腹の林床では植生が消滅。また、植生がなくなり保水力が衰えた林床の急傾斜地では土壌浸食が進み、豪雨時に土砂崩落が起きるなど同山域の荒廃は止まりません。当会は対策活動として、関係機関と連携して樹木の一本一本にガードを取り付け

る「樹木ガード」活動を行い、樹木や植物の群落を囲む「防シカ柵」の設置と補修活動を実施しています。また、食害の現状を広く市民に知ってもらおうと、食害観察バスツアー、食害を視覚に訴える写真展、写真報告書の作成などを行ってきました。

会発足からこれまで三嶺の保全目的で180回同山域に登りました。あと少しで200回になりますが、これからも活動を継続したいと考えています。



中心となって活動されている皆さんの想い！



よこた ひろし
理事 横田 弘一さん

基本、山が好き。25歳から山登りしているんですが、山登りしていたら崩壊する山を目の当たりにした。山を利用させてもらいよるので、自分がやらなあかんと思った。暮石さんと出会って仲間ができたおかげで、自然にこの活動に入っていった。ただ山が好き、それだけです。



みなもと みきお
南本 幹生さん

これまで3500本の木に樹木ガードを設置しました。近自然工法による登山道補修の方法や生態系のことまで、いろいろ勉強させてもらっています。その勉強したことが生かせるし、この活動を続けています。



いちはら ひろし
市原 浩さん

ネット情報化社会で子どもたちはゲームに夢中。自分がやりたいことに興味を持つのはいいが、自然を知るといふ大事なことを常に頭に置いてほしいと思います。特に若い世代は、今後自分の身に自然界の変化が降りかかってくるという危機感を持ってもらいたいです。

活動内容

シカ食害対策活動

(樹木ガード・防シカ柵設置、点検・補修、食害調査)

●食害防止の「樹木ガード」設置

木の幹に直接プラスチック製ガードを巻く。

●「防シカ柵」設置

既設の柵は、積雪、強風等三嶺の自然環境が厳しいため、毎年の補修が必要。植生保護のため必要な箇所に柵を新設。



柵にかかったシカを外す



樹木ガードの設置

登山道の調査・補修活動

●「公園パトロール」「登山道の標識設置・点検補修」

徳島県から委託を受け、三嶺山頂、県立自然公園の年間パトロール、登山道の標識設置や点検補修を実施。



登山道の調査・補修活動

調査・研究活動

●希少生物の調査

京都大学研究室と協力し、氷河期から生息していたと言われるハイイロマメシジミの生息地として三嶺を調査。詳しく調査するとナメクジ等他にも希少種がいる可能性もあり、調査を継続。



●ドローンによる空撮調査

三嶺と剣山2カ所の人が入りにくい山域で、中腹部樹林の表土がむき出しとなっている状態を空撮で調査。今年度も実施予定。

●混交林化

三嶺のスギの木に「赤枯病」が進行しており、成長の遅れから根が弱り倒れやすくなっている。混交林化は、あらゆる種類の木を植えることで、1種類の木が病気になっても他の木が支え、山の崩壊を防ぐことができる等の提案。



活動報告



頂上の植生回復ネット

啓発活動

看板▶

みんなで山のトイレを大切にしましょう
ここで用を足して登山を始めましょう
山頂トイレ使用の際はトイレペーパーは流さず備え付けの袋でお持ち帰りください。
—— 協力金にご協力ください ——

●山のトイレマナーアップ活動

日本トイレ協会が2005～2010年度に山の水質調査を行ったところ、剣山と三嶺の水から大腸菌が検出された。山登りの際は、常に携帯トイレをザックに入れておくことと、極力頂上のトイレを使わず、登山口のトイレで済ませることの普及活動を実施。

●希少植物の保護活動

希少な植物の摘み取り、引き抜き、踏みつけ等の行為はやめようという啓発の実施。

●シカ食害のパネル展開催と写真報告書の作成

深刻なシカ食害の状況を広く県民に訴えるパネル展を開催。食害の酷さを視覚に訴える写真報告書の作成。



盗掘防止の希少種調査



三嶺トイレクリーン大作戦



写真・パネル展

(取材：桑村・大津)

NPO法人 三嶺の自然を守る会

HP <https://kn8.jpn.org/mk/>

〒770-0866 徳島市末広4丁目4-41 TEL 090-3989-3600



ホームページ